

☆試験情報 試験日時:7月20日3限目(最終講義の日に試験) 試験場所:薬学部講堂(普段の授業と同じ場所)

試験はノート持ち込み可だが、コピーなど印刷物の持ち込みは不可。

☆過去問

08' 薬用植物学期末テスト

(担当:伊藤美千穂←今年と同じ)

1.

ひとつの薬用植物について、同じ植物が有毒植物としても扱われることがしばしばある。この一見矛盾した事柄についてその理由を説明せよ。

(例を挙げて述べるのが望ましい)

2.

薬用植物を利用するにあたって、十分に理解した上で意識しておくべき事柄がいくつかあるが、その中であなたが最も重要だと思う事柄について、重要だと思う理由とともに述べなさい。(講義の中で解説した事項について述べるのが望ましい)

以上 2 問。

(本番はパワーポイントで問題が提示された。)

☆過去問解答例

《解答例》 1 a. 薬用植物が「薬用」であるのは、その文化がその植物を薬として用いる文化であるからであり、同じ植物でも、文化によって「毒」ともなりうる。例えば、コカはアンデス地域では古来から嘔吐や喘息の薬として用いられているのに対し、西洋では麻薬コカインの原料として用いられる。

b. 薬には副作用がつきものであり、用法を誤ったために副作用が主に効果を出すことがあり、この時その薬は毒となりうる。例えば、消炎作用をもつカンゾウも大量に摂取すると低カリウム血症や血圧上昇などの副作用がある。

c. 薬用植物の薬用成分は通例植物の特定の部位に蓄積するものである。従って、薬用植物でも薬用とされる部位ではない部位を用いたために毒となることがありうる。

2 用いようとする植物がどのような時に薬用となりうるか、また毒となりうるかは意識しておく必要がある。薬用植物とはいっても副作用をもつものも多く、場合によると自分の健康に大きな被害が出るからである。